



中央農業高校 校長室だより 特集号

－ 命はぐくむ学びの風景 －

神奈川県立中央農業高等学校 校長 岩崎秀太

野球部、9年ぶりの単独出場で夏の大舞台へ ～最後まで諦めず戦い抜いた12人の挑戦～

7月9日(木)、伊勢原球場で「第108回全国高等学校野球選手権神奈川大会」1回戦が行われ、本校野球部は鎌倉高校と対戦しました。今年の野球部は、部員12名。近年は合同チームでの出場が続いていましたが、今年は9年ぶりに単独校として夏の大会へ出場することができました。この日を迎えるまで、選手たちは限られた人数の中で互いに励まし合いながら、日々の練習を積み重ねてきました。試合は初回、相手打線の勢いに押され6点を失う苦しい立ち上がりとなりました。

しかし、その後の2回、3回は粘り強い守備で無失点に抑え、最後まで諦めることなくプレーを続けました。結果は6回ワールド、12対0で敗れましたが、選手たちは最後の一球まで全力で戦い抜きました。



本校には吹奏楽部やチアリーディングによる応援はありませんでしたが、この日は約70名の生徒がスタンドに駆けつけ、大きな声援を送りました。その力強い応援は相手校にも決して引けを取らず、球場いっばいに中央農業高校の一体感が響き渡っていました。仲間を信じ、全力で声を届ける姿は、本校の温かな校風を象徴するものであり、選手たちにとって何よりの励みになったことでしょう。

翌7月10日の神奈川新聞でも、本校野球部の9年ぶりの単独出場が大きく取り上げられました。結果だけではなく、部員不足という困難を乗り越え、自分たちの力で夏の舞台に立った姿勢が多くの人々の心を動かしたのだと思います。



心をつなげて声援を送り続けた生徒たちの姿は、中央農業高校の誇りです。野球部の皆さん、本当にお疲れさまでした。そして、感動をありがとうございました。この経験を糧に、次の目標に向かってさらに成長してくれることを期待しています。

勝敗は一つの結果ですが、それ以上に価値があるのは、仲間とともに努力を重ね、挑戦する姿勢です。12人の野球部員が見せてくれた最後まで諦めない姿勢と、スタンドから



TEAM	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	R	H	E
田 鎌 倉	6	0	0	2	0	4					12	16	0
堤 中央農業	0	0	0	0	0	0					0	2	4

「命はぐくむ」の理念のもと、生徒一人ひとりの成長を支えてまいります。
神奈川県立中央農業高等学校